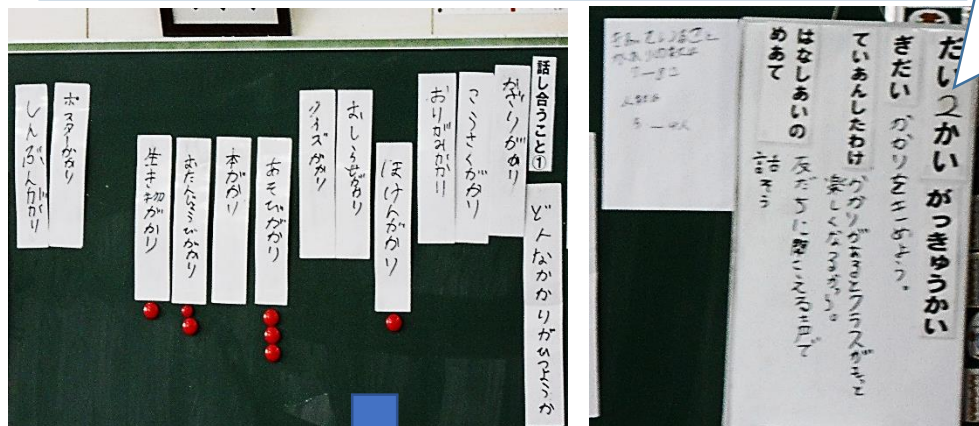


## 4/28 3年1組 「かかりをきめよう」

今回の学級会で、宇賀神先生は、「教師から（少しずつ）手を離す」ことを意識したそうです。学級会をスムーズに進行できるようにと、**事前に作成したシナリオを司会者に渡していました！**また、自分の得意を生かして係を選ぶよう、的確に助言をしていました。



**提案理由：**かかり活動をすると、クラスがもっと楽しくなったり、よくなったりするからです。

**決まっていること：**  
かかりの数は7～8こ  
人数は3～4人

**柱1：どんなかかりが  
ひつようか**  
**柱2：やくわり分たん**  
**柱3：かかりごとの話  
合い**

柱1では、昨年度までの経験を生かし、**短冊を合体する**という意見が多数出ました。「かざり・工作・おり紙」、「お知らせ、クイズ」、「ポスター・新聞」が実際に合体した係です。合体したことで、係が8つにまとまったことに気づいた児童の言葉を宇賀神先生が拾い上げ、みんなが納得したよい話合いでした！

スムーズに柱1の話合いが進んだことで、「初めて1時間で全部できるかも！」という児童のつぶやきもあり、自信につながるような素晴らしい学級会でした！



### ～宇賀神先生から～

計画委員はシナリオをもとに頑張って進めていた。経験を生かして短冊を合体させていたのは素晴らしかったが、**内容が違う係の合体に違和感をもつ児童が出るとさらによかった。**また、折り合いをつけることができた児童が今後偏らないようにしていきたい。



柱2では、密を避けるため川ごとにマグネットを貼りました。初めは人数が偏りましたが、「**人数が多いと仕事をしない人がいそうで心配**」、「**誰か自分の得意を生かして動いてくれる人いるかな**」と宇賀神先生のナイスな助言により、違う係に動いてくれる児童の姿が見られました！周りのみんなから動いてくれた子への感謝の拍手もあり、温かい雰囲気になりました。

最終的には人数が4人を超える係がありましたが、**臨機応変にみんなが納得した形で決定**しました。

### ～成果と課題について～

〈成果〉短冊を事前に背面黒板に掲示し、内容確認をしたことで**イメージの共有化**が図れ、疑問が出ないでスムーズに話合いが進んだ。また、シナリオが効果的だった。

〈課題〉議題の高度化を目指すため、上学年の過去の学級会の写真や動画を見せるなど、**学年を超えた情報共有**をしていく。